

- 同梱物:**
- PrecisionHD 1080p 12X カメラ
 - レンズフード
 - 電源 (12Vdc)
 - 主電源ケーブル
 - HDMI ケーブル (5m / 16フィート)
 - HDMI - DVI-D アダプタ
 - VISCA カメラ コントロール ケーブル (5m / 16フィート)、RJ45 - DB9
 - デイジーチェーン ケーブル、RJ11 - RJ45
- ユーザ マニュアル**
- 本製品のユーザ マニュアルは、シスコの Web サイトにあります。 URL: <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs> を参照してください。



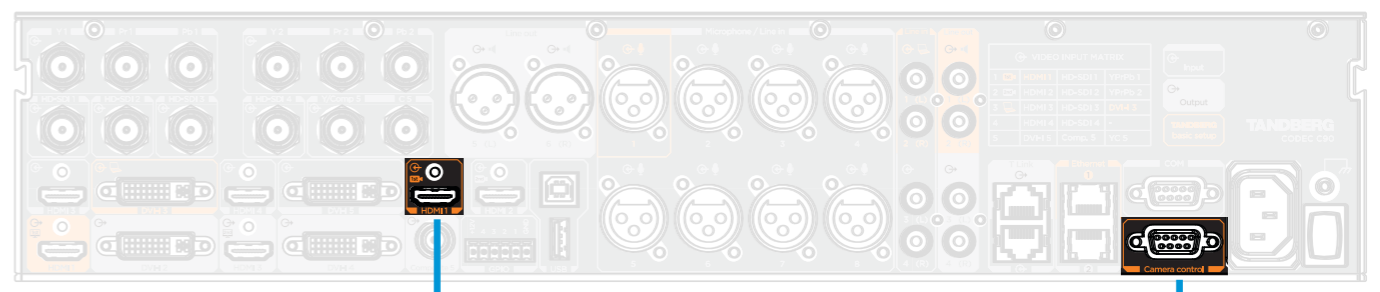
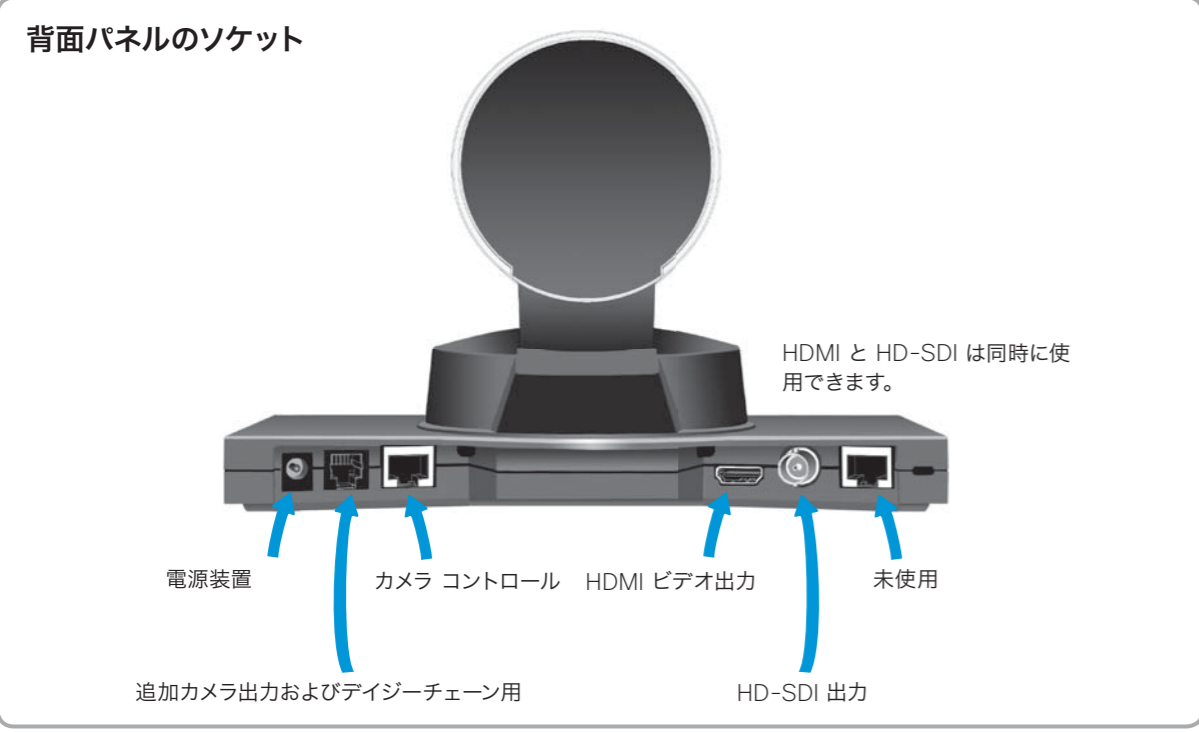
ビデオ フォーマットのティップ スイッチ表

1	2	3	4	5	HDMI	HD-SDI
0	0	0	0	0	自動	自動
0	0	0	0	1	1080p25	1080p25
0	0	0	1	0	1080p30	1080p30
0	0	0	1	1	1080p50	720p50
0	0	1	0	0	1080p60	720p60
0	0	1	0	1	720p25	720p25
0	0	1	1	0	720p30	720p30
0	0	1	1	1	720p50	720p50
0	1	0	0	0	720p60	720p60
0	1	0	0	1	ソフトウェア操作	ソフトウェア操作

この表は、HDMI 出力と HD-SDI 出力で使用可能な各設定を示します。

自動: カメラは、HDMI 上でフォーマットを認識します。HD-SDI は HDMI を追跡し、HDMI 同期がない場合はデフォルトで 1080p30 を使用します。

ソフトウェア: ソフトウェア操作の設定の詳細については、PrecisionHD カメラのユーザ ガイドに記載の VISCA™ コマンドを参照してください。



カメラの HDMI HD ビデオ出力を、コーデックの HDMI メイン カメラ入力に接続します。

カメラを PrecisionHD ビデオ スイッチまたは DVI-D ソケットを持つシステムに接続する必要がある場合は、同梱の HDMI - DVI-D アダプタを使用してください。

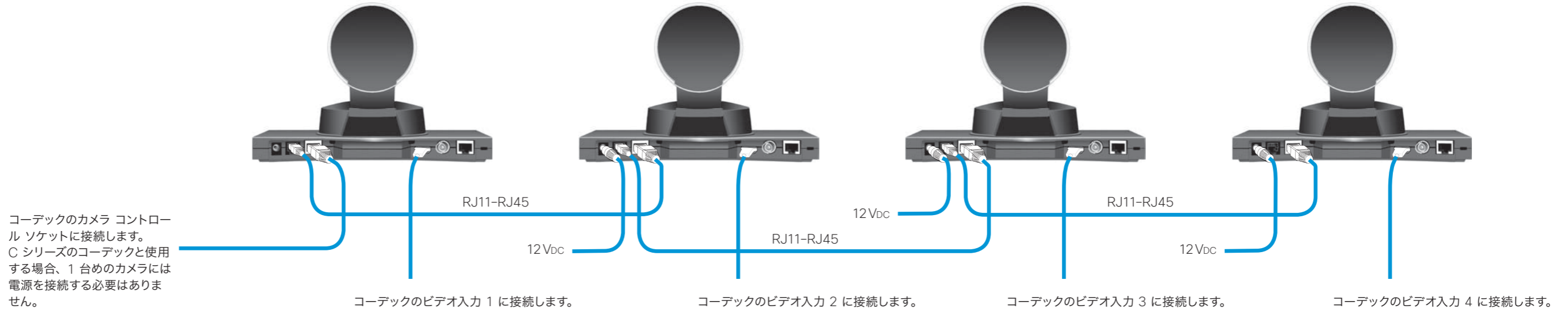
カメラをデジチェーン接続する

例:ここに、4 台の PrecisionHD 1080p 12X カメラをカスケード接続した構成を示します。カメラは、C シリーズ コーデックの 4 つの HDMI ビデオ入力コネクタに接続されています。

HDMI および HD-SDI。 HDMI と HD-SDI は、同じカメラで同時に使用できません。

電源。 チェーン内の最初のカメラの電源は、VISCA カメラ コントロール ケーブルを通じて、コーデックから供給されます。追加のカメラは、12Vdc 電源入力を使用する必要があります。

ケーブルのデジチェーン接続。 カメラのデジチェーン接続は、追加カメラ出力およびコーデック操作入力ソケット間でデジチェーン ケーブルを使用して接続します。



ケーブルを自作する

ピン配列: PrecisionHD カメラ ケーブル RJ45 (8 ピン) - D-SUB

信号名	RJ45 ピン	D-SUB ピン
+12Vdc	1	4
GND	2	5
RX	3	2
TX	6	3
NC	4	1
NC	5	6
GND	7	5
+12Vdc	8	4

ピン配列: VISCA カメラ コントロール RJ45 8 ピン シールド付きモジュラ ジャック

ピン	信号名
8	+12V (デジチェーン接続した場合、2.8mA の電流源)
7	GND
6	TXD (出)
5	NC (接続なし)
4	NC (接続なし)
3	RXD (入)
2	GND
1	+12V

ピン配列: VISCA デジチェーン RJ11 6 ピン モジュラ ジャック

ピン	信号名
6	GND
5	GND
4	RXD (入)
3	TXD (出)
2	Presence (12V、デジチェーン)
1	GND

カメラを上下逆に取り付ける

カメラは、上下逆に取り付けることもできます。そうすると、カメラとモニタを近くに設置できるため、ビデオ会議出席者のアイ コントクトを向上することができます。

カメラの電源を入れると、カメラの向きは自動的に検出されます。画像を画面に正常に表示するために、手動で設定を行う必要はありません。

